

ADA 第2編 公共通行権移行計画の要旨

概要 (Overview)

ポートランド運輸局 (Portland Bureau of Transportation : PBOT) による ADA (アメリカ障害者法) 第2編 公共通行権移行計画 (Public Right of Way Transition Plan) は、2021年7月21日、ポートランド市議会によって採択されました。

アメリカ障害者法 (ADA) 第2編は、50人以上の職員を擁する州政府または地方政府に対し移行計画の策定を要求します。

移行計画には、以下の要素を含める必要があります。

- 路上および歩道上でのすべての PBOT 事業に関連して障壁となるもの (バリア) の特定
- 計画実施にあたっての予算とスケジュールの特定
- 市民による苦情申し立てのプロセスの提供
- 計画を実施する責任者の特定
- 市民によるすべての PBOT プログラムへのアクセスの提供

PBOT は、すべての市民が容易に利用することのできる交通システムの構築に取り組んでいます。私たちは、交通インフラに投資する際、有色系コミュニティ、低所得者層のコミュニティ、身障者によるアクセスをよりいっそう、そして効果的にサポートする方法で行います。

ポートランドでは、PBOT は以下ものへのアクセスの提供に責任を負いません。

- 縁石スロープ
- 歩行者用信号
- 歩道
- 駐車場
- エアリアム・トラム (Aerial Tram) とポートランド・ストリートカー (Portland Streetcar) の停留所

バスとライトレールの停留所は、一般的に TriMet の管轄ですが、これらにアクセスするための道路または歩道は、PBOT の管轄です。PBOT は、停留所の適合性について、TriMet と連携します。

ポートランドをよりアクセスしやすい街に (**Making Portland More Accessible**)

移行計画 (Transition Plan) は、まだ採択されたばかりで、間もなく正式に実施期間が始まります。ただし、PBOT は、ほぼすべてのプロジェクトにおいて、着実に交通システムへのアクセスを改善しています。Fixing Our Streets、Central City in Motion、Neighborhood Greenways、Safe Routes to Schools といったプログラムやその他のプロジェクトは、交通や輸送におけるエレメントを更新し、交通システムの利便性の改善を図っています。また PBOT のメンテナンス作業では、例えば、舗装事業進行中に規定に基づく縁石スロープを設置することで、利便性の改善を図っています。最後に、民間デベロパーによるプロジェクト (および一部の公共事業) により、しばしば、交通システムの利便性が改善されています。

加えて、PBOT は、ポリシー、手順および慣行をよりわかりやすく利用しやすいものにする取り組みを行っています。1つの例が、アクセスしやすい駐車スペースを確保し、設備を利用しやすくしています。また別の例としては、コントラクターやベンダーによる ADA に準拠する事業、サービス、プログラムの提供を要求する意図的な契約文の採用が挙げられます。PBOT は今後も、ポリシー、手順および慣行を見直し、必要に応じ調整していきます。さらに、必要に応じて、地域社会から見解や意見を提供していただきます。

アクセシビリティプログラム (**Accessibility Programs**)

これは、地域社会が縁石スロープ、音声機能付き歩行者用信号、歩道に関するアクセス性の改善を要請できるプログラムです。

Ramps by Request プログラムでは、ポートランドの居住者は、縁石にスロープを設けることで、自身または地域に住む障害を持つ家族がアクセスするのを後押しするような空間を提案することができます。こちらがプログラムへのリンクです。

[縁石スロープの設置リクエストフォーム \(Curb Ramp Request Form\)](#)

地域社会は、このリンクから、音声機能付き歩行者用信号の設置をリクエストできます。

[音声機能付き歩行者信号の設置リクエストフォーム \(Audible Pedestrian Signal Request Form\)](#)

安全でない歩道、または通りの場所を報告するには、503-823-SAFE (7233) までご連絡ください。

正式の、そして個別の苦情処理プロセスも用意されています。こちらは、これらの手順へのリンクです。

[ADA 第2編 苦情 \(ADA Title II Complaint\) の申し立て](#)

移行計画アウトリーチ (Transition Plan Outreach)

計画案は、2020年8月に公開されました。そして、身障者を支援する150を超える地域組織および特定の文化的組織に対し、直接配布されました。移行計画ウェブサイトでは、計画を説明するためのナレーション付き動画が公開されました。さらに、計画、計画の要旨、調査内容が10言語に翻訳されて公開されました。PBOTは、バーチャル形式の6回にわたるオープンハウスを主催し、その他に13の地域組織または会議においてプレゼンテーションを行いました。

実施および次のステップ (Implementation and Next Steps)

本計画は20年にわたり、少なくとも5年おきに更新されていきます。PBOTは、移行計画ウェブサイト上で年次進捗報告書を公開します。PBOTプロジェクトおよびその他の取り組みに伴い、交通システムは常に改善され、身障者にとってより利用しやすいシステムとなっていきます。実施の最初の数年におけるその他の取り組みには、不適合要素に対する広範な評価が含まれ、これは、その後の計画の方向修正に役立てられます。

PBOTプロジェクトの資金調達、メンテナンス業務、公共事業による業務およびデベロパーによる建設には、多くの場合、歩道、縁石スロープ、歩行者用信号、駐車場、停留所が含まれます。さらに、個別契約に関連して、2032年までの縁石スロープ設置に予算が割り当てられています。

これらは、最終案へのリンクです。

[ADA 第2編 公共通行権移行計画 \(ADA Title II Public Right of Way Transition Plan\) 英語版](#)

[ADA 第2編 公共通行権移行計画 \(ADA Title II Public Right of Way Transition Plan\) スペイン語版](#)

[ADA 第2編 公共通行権移行計画 \(ADA Title II Public Right of Way Transition Plan\) 中国語版](#)

[ADA 第2編 公共通行権移行計画 \(ADA Title II Public Right of Way Transition Plan\) ベトナム語版](#)

[ADA 第2編 公共通行権移行計画 \(ADA Title II Public Right of Way Transition Plan\) ロシア語版](#)

ご質問やご意見は、ADATransitionPlan@portlandoregon.gov までメールでご連絡ください